



国労東北自動車支部

第67回支部定期大会

仙台市

職場の改善、組織の強化・拡大を確認

1月23日(月)仙台地本会議室において、第67回東北自動車支部定期大会が開催されました。昨年1月15日に発生した軽井沢スキーツアーバス事故から一年、二度とこのような事故を起こすことのないよう職場の労働条件改善をはじめ組織の強化・拡大を真剣に議論し、あらためて頑張る決意を固めました。

来賓の原子地本書記長より共謀罪問題や春闘情勢について話され「大衆行動と一人一要求の運動を組織拡大に繋げ、全員参加の春闘で盛り上げよう」と訴えました。

2016年度支部役員

| | |
|--------|-----------|
| 執行委員長 | 北山 修司(仙台) |
| 執行副委員長 | 新田 順一(盛岡) |
| 書記長 | 兜森 秀昭(秋田) |
| 執行委員 | 早坂 修悦(古川) |
| 一〃 | 岩崎 宏(青森) |
| 会計監査 | 佐藤 浩二(福島) |
| 一〃 | 浅利 功(盛岡) |

よろしく願います!!

- 大会終了後、大倉(元)委員長を招き「原発避難者の現状」について講演を頂き、参加者全員真剣に聞き入り、今後に関わりを持ち続けることを確認し終了しました。(以下大会発言)
- 夜行続行便4列仕様で乗客が不満を持っている。また、ドラレコが破壊され問題となっている。
- 目まいがあると2週間の診断書を出した人に会社は、一ヶ月休めと言った。申し入れをし、日勤になった。
- 高齢者の働き方対策が、他社と比べて遅い。
- 運転無事故表彰制度はどうなっているか。
- 雪害で常磐道を走行。線量や休憩時間など問題ではないか。

発 責
北山修司
編 責
教 宣 部
NO,108
2017.1.26

**国労加入
で職場を
変えよう**

第29回東日本自協定期委員会
2月13日~14日・13時30分
仙台市・ホテル法華クラブ

Ⅱ「原発避難者の現状」Ⅱ
6年間という月日は、あつという間に過ぎた。2万1500人いたが全国667市町村にお世話になっている。



1700人いた子供も3人ぐらしか戻っていない。3月に除染は終わると言っているが四方を帰還困難区域に囲まれている地区もあるし、双葉・大熊町は何ら対応されない状況にある。道路、耕作地から20メートルの山林は除染するがその他は

対象外で、帰っても不安箇所が多く残っている。イノシシ被害がすごく街中にも出ており恐怖感がある。この間、福島県で捕獲したのが4000頭らしい。浪江町で260頭ぐらいで地中に埋めて腐敗させ、8000ベクレル以下は焼却処分している。ADR原子力損害賠償紛争センターと弁護士の手配によって4年間たった一人だけ保証を認めた。提訴し闘っているが頑なに認めない姿勢なのが東京電力です。以上



2017年支部旗開き 激励会を開催

支部大会、共済担当者会議終了後、仙台駅地下「海の台所・波奈」において2017年支部旗開きと昨年10月よりエルダー社員になった新田副委員長、今年1月から契約社員となった浅利さんの激励会を盛大に開催しました。岩手県分会を代表して原さんの乾杯ではじまり新田副委員長より「支部を発展させこれからも頑張っていく。」と挨拶。今年もみんなが労働条件改善に向け頑張ろう！尚、1月16日から岩手医大に検査入院している安保さんは、来月から復帰します。